

# 明るく幸せな社会を築く「若槻地区住民集会」



去る7月22日(土)の午後、若槻コミュニティセンター体育館において、「明るく幸せな社会を築く若槻地区住民集会」が開催されました。今年度も30度を超える暑さにもかかわらず、130名を超える参加者が集まりました。

第1部の「第67回社会を明るくする運動」では、保護司の方から事業の趣旨などについて説明の後、徳間小、若槻小、北部中の5名の児童・生徒による作文発表がありました。昨年度までは長野市で発行していた人権教育作文集に掲載された作文を発表してもらっていましたが、作文集の作成がなくなった関係で、夏休み前の慌ただしい中、作文を書いていただきました。日々の学校生活の中での体験から得た、友だちの有難さ、人を思いやることの大切さを生き生きと語ってくれました。

続いて、この集会で恒例となっている手話サークルの皆さんの手話歌が披露され、第1部が和やかなうちに終わりました。関係の皆様へ感謝します。

第2部の講演会は、講師に長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザー(一社)セーフティネット総合研究所 専務理事 博士(学術)の南澤信之先生を迎え、「知っておきたいネットの常識」～あなたもターゲットになっている～の演題でお話をいただきました。プロジェクター、紙資料を使って、ネットトラブルの様々な事例から、被害に遭わないための方策を教えてくださいました。細かい字で書かれている規約等はしっかり読むこと、発信元不明のファイルは簡単に開かないこと、写真には位置情報が入っていること等、インターネット社会で生きていく上で大切な点を多く学ぶことができました。また、先生は講演の最後で、このような状況の中でも、相手の顔を見て聴くことの大切さ、そして、地域で子どもたちを育てることの大切さを強調され、「なるほど」と多くの参加者が納得したのではないのでしょうか。

あっという間に1時間の講演が終わり、集会の最後には、徳間小学校PTA会長より若槻地区人権尊重アピールが読み上げられ、集会を終えることができました。(人権教育部会)



## 防災研修会を開催しました

7月15日(土)、若槻コミュニティセンターに地区防災関係者が集まり、若槻地区防災研修会を実施しました。

信州大学廣内教授の講演「活断層地震に備える」を聴講し、次に、若槻小学校池田校長から学校の現状報告がありました。

講演では、いざという時にできることは限られている。個人・自治組織として必要なものは、1壊れない家 2最低限の備蓄 3どうするかの取り決めと日ごろの訓練(そして住民同士のネットワーク)の3つである。普段から様々な活動をして、いざというときに、しっかり動ける仕組み、体制を整えておくことが大切であると指摘を受けました。



また、地域の宝である子供達を通い、避難所にも指定されている学校と地域との防災に関する共有連携を、今後さらに深める必要性を感じました。

この研修を災害対応への取り組みに活かし、地域防災力向上を図っていきたいと思います。(防災部会)

